

定期報告書の添付書類

令和 年 月 日

農場の名称又は所有者名：

農 場 の 所 在 地 ：

1 農場の平面図

農場の平面図を作成し、次の記載事項について図面内に明示してください。

- ①衛生管理区域^{注1}（衛生管理区域とそれ以外の区域を区分する境界線を記載してください。）
- ②衛生管理区域の出入口
- ③消毒設備の設置箇所（衛生管理区域及び畜舎の出入口に設置した踏込消毒槽・動噴等の消毒設備）
- ④各施設の配置及び名称（畜舎、立入禁止看板、飼料タンクや飼料保管施設、堆肥舎、家畜の排せつ物保管施設、農機具保管庫、生乳処理室、パドック、GPセンター等）

注1 衛生管理区域とは、病原体の侵入を防止するために衛生的な管理が必要な区域をいいます。

・別紙で提出の場合は、欄内に「別添」と記載して下さい。

・農場平面図は、手書き、航空写真、土木設計用図面、インターネットの地図等いずれでも結構です。

・平面図には農場敷地内の各施設の配置及び各施設の名称等を記載して下さい。

2 必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせないようにするとともに、衛生管理区域に立ち入った者が飼養する家畜に接触する機会を最小限とするために講じた措置の内容

○措置の内容について口チェック印を記入してください。（複数回答可）

◆衛生管理区域に立ち入らせない方法

- ☐ 衛生管理区域の出入口付近に立入禁止等の看板を設置
- ☐ 衛生管理区域の出入口にゲートを設置
- ☐ 柵・ロープ・白線・プランター等による衛生管理区域と他の区域との区分
- ☐ その他（ ）

◆衛生管理区域に立ち入った者が家畜に接触する機会を最小限とする方法

- ☐ 畜舎出入口に看板を設置 ☐ 畜舎の戸締まり ☐ 畜舎の施錠 ☐ 監視カメラ
- ☐ その他（ ）

3 衛生管理区域及び畜舎等の出入口付近に設置した消毒設備の種類

○消毒設備について口チェック印を記入してください。（複数回答可）

◆衛生管理区域の出入口の車両消毒

- ☐ 消石灰帯 ☐ 消毒薬噴霧器 ☐ 車両用消毒槽 ☐ 車両用消毒ゲート ☐ 消毒マット
- その他（ ）

◆畜舎等の出入口の人の消毒

- ☐ 踏込消毒槽 ☐ 消毒薬噴霧器 ☐ 消毒マット ☐ 手指消毒スプレー
- その他（ ）

4 畜舎ごとの家畜の飼養密度

○畜舎ごとに1頭（羽）当たりの床面積を記入してください。

畜舎(名称、区分等)	1頭(羽)当たりの面積	畜舎(名称、区分等)	1頭(羽)当たりの面積

※ 畜舎ごとの家畜の飼養密度は「家畜を収容している区画の床面積÷収容頭羽数」により算出してください。

※ 区画ごとの床面積や収容頭羽数が同一でない場合には、「家畜を収容している各区画の平均床面積÷平均収容頭羽数」により算出してください。

※ 同一農場（畜舎）で種豚、母豚、育成豚、肥育豚を飼養している場合には、それぞれについて算出してください。

5 埋却用地の確保状況（馬のみの所有者は記入不要）

○口蹄疫（鶏等については、高病原性鳥インフルエンザ）の発生に備えた措置について、次の該当する□にチェック印及び必要事項を記入してください。

☐すでに埋却用地を確保済み ☐焼却・化製処理で対応（6に進む） ☐確保していない（7に進む）
↓（①に進む）

① 埋却用地の所在地 _____

※ 埋却用地の所在地を示した地図を添付してください。

② 埋却用地の所有者 ☐本人（⑤に進む。③、④は記入不要。） ☐本人以外（③に進む）

③ 土地所有者氏名又は名称 _____

④ 土地利用に関する契約 ☐有（契約内容： _____）
☐無

⑤ 埋却用地の面積 _____

※埋却に必要な標準的面積：飼養頭羽数×（牛）5.4m²、×（豚）0.9m²、×（鶏）0.7m²／100

⑥ 埋却用地の利用状況 ☐放牧地 ☐採草地 ☐畑 ☐その他（ _____ ）

⑦ 農場（畜舎等）から埋却用地までの距離 _____

⑧ 埋却用地の近隣住民^{注2} その他の関係者への埋却の実施に関する説明の有無 ☐有 ☐無 ☐その他（ _____ ）

注2 埋却用地に隣接する地域の住民

⑨ ⑧の説明に対する当該関係者の承諾の有無 ☐有 ☐無 ☐その他（ _____ ）

⑩ その他埋却の的確かつ迅速な実施のための参考となるべき事項
（例：近隣住民以外（町内会）の住民にも説明。）

6 焼却又は化製のための準備措置の状況（馬のみの所有者は記入不要）

○焼却又は化製のための準備措置をしている場合、次の該当する□にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。（埋却用地を確保している場合は記入不要。）

① 焼却施設又は化製場の名称及び所在地

・ 名称 _____

・ 所在地 _____

② 農場（畜舎等）から焼却施設又は化製場までの距離 _____

③ 焼却施設又は化製場の近隣住民その他の関係者への焼却又は化製の実施に関する説明の有無

☐有 ☐無 ☐その他（ _____ ）

④ ③の説明に対する当該関係者の承諾の有無 ☐有 ☐無 ☐その他（ _____ ）

7 埋却の用に供する土地、焼却施設又は化製場を確保していない場合にあつては、これらを確保するための取組の状況（馬のみの所有者は記入不要）

○次の該当する□にチェック印を記入及び必要事項を記入してください。
（埋却用地を確保している場合や焼却又は化製のための準備措置をしている場合は記入不要。）

☐土地を探している ☐購入手続き中 ☐市役所等に相談

☐地権者と交渉中 ☐その他（ _____ ）

8 農場ごとに作成する飼養衛生管理マニュアル

- ・別紙で提出の場合は、欄内に「別添」と記載して下さい。

9 大規模所有者にあつては、従業員が特定症状^{注4}を確認した場合に家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写し（馬のみの所有者は記入不要）

○添付の有無について□にチェック印を記入。添付しない場合には、その理由を記入。

☐ 別添

☐ 添付しない（理由： _____ ）

注3 大規模所有者とは、次の頭羽数に該当する家畜の所有者をいいます。

- ①成牛（次のイ・ロに該当するもの）の場合 200頭以上
 - イ 月齢が満17月以上の肥育牛（乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。）
 - ロ 月齢が満24月以上のその他の牛
- ②育成牛等（次のイ・ロに該当するもの）の場合 3,000頭以上
 - イ 月齢が満4月以上満17月未満の肥育牛（乳用種の雄牛・交雑種の牛に限る。）
 - ロ 月齢が満4月以上満24月未満のその他の牛
- ③水牛・馬の場合 200頭以上
- ④鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000頭以上
- ⑤鶏・うずらの場合 10万羽以上
- ⑥あひる・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥・エミューの場合 1万羽以上

注4 特定症状とは、牛、豚等については、口蹄疫に関する症状、鶏等については、高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する症状をいいます。